

72. フェンタニル製剤を使用中に重篤な副作用が生じた2症例

研究の概要

フェンタニル貼付剤や口腔粘膜吸収剤はがん患者の疼痛治療において有用です。しかしながら、呼吸抑制などの重篤な副作用も報告されています。フェンタニルは、動物実験において、他のオピオイドより呼吸抑制が起こしやすいことが示唆されていますが、臨床での報告は少なく、フェンタニル製剤の副作用を集積し、検討する必要があります。今回、当院でフェンタニル製剤を使用中に重篤な副作用が生じた症例について調査を行い、フェンタニル製剤による副作用を防止するための方策について検討することを目的とし、観察研究を計画しました。

研究の目的と方法

本研究では、平成27年6月30日から平成28年1月25日の間に、国立病院機構熊本医療センターでフェンタニル製剤を使用した患者様のうち、重篤な副作用が生じた方を対象としています。日常診療で得られた臨床データ（年齢、性別、使用薬剤、施行した検査、入院経過など）を電子カルテから集計します。

本研究の参加について

これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。研究対象者（患者さん）の個人情報（氏名、住所、電話番号、カルテ番号など）は記載しませんので、個人情報は特定されません。

調査期間

研究対象期間：平成27年6月30日～平成28年1月25日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和1年10月31日まで

研究成果の発表

調査した患者様のデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。また、個々の患者様のデータを発表するときも、個人が特定されることはありません。

研究代表者

薬剤部 尾関あゆみ

当院における研究責任者

薬剤部 尾関あゆみ

問い合わせ先

薬剤部 尾関あゆみ

TEL: 096-353-6501